

田園調布教育財団（田高財団）事業 『第7回 郷土の歴史探訪』に向けて

テーマ：品川宿周辺の歩みとにぎわいをウォッチ！

田高財団主催の『郷土の歴史探訪』は、皆様の熱意とご厚意に支えられて7回目を迎える運びとなりました。ここで、昨年までの探訪コースを振り返ってみたいと思います。

- 第1回 史跡・新田義興ゆかりの地を訪ねる（※コースは矢口の渡から下丸子まで）
- 第2回 日蓮聖人ゆかりの池上本門寺から洗足池まであるいて見よう
- 第3回 古代から続く まほろばの地を歩く（※主な訪問先：多摩川台公園の古墳群）
- 第4回 OH盛りだくさんの街・大森 海苔のふるさと館を訪ねて
- 第5回 羽田を歩く 「街中に漁村の残照を感じて 新しき空港関連施設を訪ねる」
- 第6回 九十九谷・馬込から山王へー「田高」遺跡、文士村を訪ねるー

第7回の探訪では、田高がある大田区を初めて飛び出し、品川区の名所や史跡を訪ねることになりました。

田高が属していた旧第一学区は、大田、品川、港、千代田の各区で構成されていました。地域の縛りが緩和された現在でも、品川区内の中学校からは多くの生徒さんが田高に進学しています。大田区の隣町である品川区もまた、田高生にとっては大田区と同様に、「郷土」の一つであると思います。

今回は、品川区内で最も魅力あるエリアの一つである「旧東海道」から本格的な探訪をスタートします。宿場町の名残を感じさせる旧街道を歩き、まずは、古くから多くの人々が参拝に訪れた品川神社を目指します。海がまだ近かった江戸時代の風景を想像しながら、境内からの眺望など皆様と一緒に楽しみたいと思っております。また、青物横丁方面に向かう旧街道沿いにも、荏原神社、品川宿交流館、品川寺（ほんせんじ）など、見どころの多い数々のスポットが点在しています。意外な発見があるかも知れません。

初めての品川区探訪。今回も、田高で教鞭を取られた笹川耕太郎理事の解説が随所で行われます。楽しく、また有意義な時間になるものと存じます。歩行距離は約5キロ、午前9時に品川駅を出発し、お昼ごろには終了、解散の予定でおります。

皆様のご参加を 心よりお待ちしております。

令和7年10月吉日 稲井一樹／実行委員長（田高財団運営委員）



旧東海道の風情を残す商店街



品川神社境内より国道15号方面を望む